

校内研修を通じた教師の学びの充実

1 特集について

子供たちの多様化や社会の変化等により、教師一人一人が個々の子供の多様な教育ニーズに対応した学びを提供するだけではなく、学校自体が、子供たちの多様性を受容でき、それに対応できる組織になることも必要となります。これらの実現のためには、教師が技術の発達や新たなニーズなど学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続け、子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たすことが必要です。

そこで本号では、前号に引き続き、「校内研修を通じた学びの充実」について特集しています。前号では、主に研修を運営する研究主任等に向けた研修担当者編を発行しました。本号では研修を受講する先生方を対象とし、研修受講者編を発行します。

先生方が主体的に学び続ける姿は、子供にとって重要なロールモデルとなります。子供たちの学びの転換とともに、教師自身の学び（研修観）の転換を図りましょう。

2 紙面の活用について 本特集は [こちら](#) から

見通しをもち主体的に研修に参加できるよう、各段階の取組例を示しています。

教師自身の学び（研修観）の転換に向けて、教師の学びの在り方を示しています。

前号に関して、多摩地区の小学校の研修運営の工夫例を紹介しています。

ファシリテーターとして押さえておきたいスキルと具体的な声掛けの例を示しています。

御意見
ください

所報「たまじむ」において、多摩地区の学校及び市町村教育委員会のニーズに応える特集を予定しております。つきましては、特集内容に関する御意見をいただきたく、御協力をお願いいたします。

↓アンケートフォーム↓

こちらからも該当のアンケートフォームへ直接アクセスすることが可能です



本特集及び過去の
所報解説動画

校内研修を通じた教師の学びの充実

Part. II
研修受講者編



過去の所報
「たまじむ」

校内研修は、学校ごとの教育課題に応じた協働的な学びを全教職員で進め、その成果を共有することで、学校の組織力を高め、より効果的な教育活動の実現に役立つものであり、校長のリーダーシップの下で、より一層充実させることが求められています。本特集では、教師の学びの充実に向けた研修の受講に当たっての取組及び三鷹市立小学校の取組例について紹介します。

校内研修の受講に当たって



教師の学び

主体的に学び続ける教師の姿は児童・生徒にとっても重要なロールモデルとなります。

前向きに学び続けよう！

学校の研修運営の工夫

デジタル活用形式



研究授業において、付箋アプリを活用して、リアルタイムで意見をを入力する。



協議会での自分の考えの伝え忘れがなくなる
他の先生の考えを瞬時に把握できる

ワークショップ形式



全教員（管理職も含む）が順番で講師を担当し、自分の専門性等を生かして、講義や演習を行う。（資料等はクラウドで共有し、いつでも参照可能）

所報「たまじむ」第116号
校内研修を通じた教師の学びの充実



Part. I
研修担当者編

三鷹市立小学校の取組

先生方の声

- デジタル活用形式について
学習指導案を事前にクラウドで共有し、チャット機能等で事前に意見を共有することで、職員室で授業等に関する会話が増えた。
- ワークショップ形式について
他の先生の専門性や得意分野を知る良いきっかけとなった。指導方法で困った際、その内容に関して得意な先生に話を聞いている。

見通しをもった研修の受講

一人一人が主体的に研修に参加し、学校全体で協働的な学びを行い、資質・能力を高めましょう。

年度当初～ 日常的な取組

- 学校経営方針等から、**自校の課題**を捉える。
- 自分の職層に求められる**役割や能力**について確認する。

研修前

- 事前課題等に対して、**自分の考え**を整理し、回答する。
- 研修の目的、授業観察の視点、協議内容を**確認し、見通し**をもつ。

研修受講

- **建設的に（時に批判的に）**自分の意見を述べる。
- 協議に関する考えや課題を、**分類・整理**する。
- ささいなことでも分からないことは**すぐに聞く**。

協働的な学びの充実に向けて

- ✓ デジタルの共有機能を活用してグループの考えを共有する。
- ✓ **ファシリテーター**が活動を支援し、促進する。

研修後～ 日常的な取組

- 研修を生かした**授業実践等**を共有し、相互で学び合ったり、管理職に報告したりと、**学校の教育課題の解決や教職員等の資質・能力の育成**につなげる。

【参考】
東京都立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標
令和5年2月改訂版



学校管理職は

指標、職責、経験、適性、学校が目指す教育等を踏まえて、**研修履歴**を活用した対話に基づいて、校内研修以外にも、**必要な研修の受講奨励**をしましょう。

研修観の転換に向けた一人一人の学びの在り方

- 知る・分かる** 他の人が発言した内容をそのまま知識として得る・理解する
(例) 子供たちが調べられるよう、××をすればいいことが分かった。
- 気付く** 自分なりに価値付けや意味付けを考えたり、気付いたりする
(例) ××により、個人のペースでより興味が広がったり、見付けたりしたいという思いが生まれると気付いた。
- 考える・見付ける** 自分で考えた上で、課題や次にやってみようことを見付ける
(例) 様々な××に興味をもてるよう、自分たちで調べる経験ができる学びの環境のデザインをする必要があると思う。

主体的な参加、豊かな「気づき」から、ワクワク感をもった実践へ

ファシリテーターとして押さえておきたいスキル

